

令和元年第3回定例会一般質問 会議録（抜粋）

令和元年9月20日

5 シティプロモーションとふるさと納税等の施策との連動について

○松本議員

～略～

5番、シティプロモーションとふるさと納税等の施策との連動についてですが、まず4月からのシティプロモーション戦略策定取り組みについて、現在の状況をお聞かせ下さい。

～略～

○嶋野議長

市長公室長

○山本市長公室長

「シティプロモーション戦略の進捗状況について」のご質問にお答えいたします。

現在、シティプロモーション戦略の策定に向けて、まずは、本市の「強み」や「弱み」を把握し、また分析するために、本市の魅力等に関するアンケートを職員向けに実施致したところでございます。

その結果を踏まえながら、次に、市内企業や市内街の方々に本市の街の印象等のアンケートを行う予定にしております。

また、シティプロモーションの視点を取り入れた企画力や新たな発想力を身に付けることを目的に、若手から中堅職員を対象としたいいわゆる「インナーブランディング」の研修を実施致したところでございます。

これらをしっかり分析するとともに、若手職員の意見も取り入れながら、シティプロモーション戦略の策定を進めてまいりたいと考えております。

～略～

○嶋野議長

松本議員。

○松本議員

～略～

次にシティプロモーションについてですが、現状については理解しました。その中で、インナーブランディングについてはどのようなものか、お聞かせ下さい。

○嶋野議長
市長公室長

○山本市長公室長

「インナーブランディング」のご質問でございます。

所管業務の垣根を越えました魅力ある市の取り組みを発案するなど、職員の意識改革を図り、また、モチベーションを高め、新たな発想を持って今後のまちづくりに取り組む職員を育成する目的で、入庁3年目から10年目前後までの職員を対象にした研修を実施いたしましたところではございます。

内容は、1班5名の6チームを編成し、本市の重点政策である「子育て」「健康」「安全安心」をテーマに研究を行い、8月下旬には、市長を始めとする三役の皆様ほか、管理職を含む約70名の職員を前に研修成果の発表を行ったところでございます。

成果発表における職員アンケートの内容ですけれども「大変刺激になった」「提案内容がこれまでにない斬新な内容で素晴らしかった」など前向きな意見が多く寄せられ、発表した職員だけではなく、傍聴していた職員のモチベーション向上にも繋がったものと考えております。

○嶋野議長
松本議員。

○松本議員

インナーブランディングによって、シティプロモーションを担う人材を育成しているとまさに理解しました。

シティプロモーションは全ての職員が意識すべきで、既存施策との連動が必要不可欠です。例えば、今検討されているふるさと納税をはじめ、ヒト・モノ・カネを集める各種施策は計画作成の段階から魅力発信の視点を盛り込むことが必要であります。どうお考えかお聞かせ下さい。

○嶋野議長
市長公室長

○山本市長公室長

ご質問でございましたように、多くの方が応援したくなる、また訪れたくなる、ひいては、住みたくなるようなまちづくりに力点を置いた施策、事業の展開を行うことが、ヒト・モノ・カネを呼び込むことにつながっていくと考えております。

そのため、すべての所管が計画段階からシティプロモーションの意識を持ち、魅力ある施策となるよう、様々な機関と議論を深め、オリジナリティ溢れる事業へと磨き上げていくことが大切になると考えております。

○嶋野議長
松本議員。

○松本議員
是非、各施策にシティプロモーションの観点を取り入れるよう、また、シティプロモーションは千里丘駅西地区再開発や健都など行政を越え民間企業も巻き込んだ取り組みも必要かと思いますが、どうお考えかお聞かせ下さい。

○嶋野議長
市長公室長

○山本市長公室長
新規事業を効果的に、本市のPRにつなげていくためには、議員からのございましたように市内の横断的な連携だけでなく、民間企業等とのタイアップも必要になると考えております。

民間企業等が持ちますブランド力やノウハウをうまく活用していくことで、事業の認知度向上にもつながり、市民の関心を高め、市民参加、参画の促進に図ることも期待しております。

このような魅力ある取り組みが、まちの魅力を高め、市のPRにもつながっていくものと考えております。

さきほどご説明しましたインナーブランディングの研修では、様々な民間企業に対して直接ヒアリングを行いましたように、今後は、民間企業等との連携を視野に入れながら、これまでの発想にない本市オリジナルの事業展開し、市のブランド力向上につながるよう取り組んでまいりたいと考えております。

○嶋野議長
松本議員。

○松本議員
是非、市のブランド力向上、これに是非取り組んで頂ければと思います。ブランド力向上は、市民・職員が本市に一層誇りを持てるようになります。

人材育成、施策との連動、民間との連携などシティプロモーションを行うシステムを今しっかりと構築されるよう、また情報発信手段の拡大は必須でありSNS、動画配信サービスなどの活用を検討することも合わせて要望致します。